

来週の「売り物」記事はこれ



2011年6月10日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ある被災夫婦の暮らし くらしナビA面 15日(水)

福島第1原発から半径20kmの警戒区域から東京都内に避難し、慣れないマンション暮らしをするご夫婦。ようやく仕事を見つけ、生活再建にめどをつけたお二人の姿を紹介します。今後も定期的にこのご夫婦の生活を追う予定で、今回は第1回目となります。



「バターチキンカレー」ブーム くらしナビA面 16日(木)



カレーのシーズンである夏に向け、インドカレーの定番「バターチキンカレー」がブームになりつつあります。フライパンでも作れる手軽さで、節電下に適した「時短メニュー」としても注目。ブームの背景や市販のカレールーから作れる簡単レシピも紹介します。

「男のおしゃれ」変身編 くらしナビB面 16日(木)

読者モデルがファッションのプロの手で変身する「男のおしゃれ」。今回のテーマはカジュアル系クールビズです。見た目はきちんと感があるのに、リラックスした着心地で、しかも涼しい。休日でも仕事でも、両場面で使える便利な着こなし術を伝授します。



運動面企画「インサイド」

「サッカー次世代改革」—— 少年たちの育て方 14日から



日本のサッカー界は今、長友佑都選手（インテル・ミラノ）、本田圭佑選手（CSKAモスクワ）ら欧州のサッカーリーグで活躍する選手を多く輩出しています。こうした優秀な選手を今後も育成し、増やしていくためにどうすればよいのでしょうか。現状のままで先細りになることをおそれるサッカー界は、次世代育成のシステム改革に乗り出そうとしています。小学生年代の試合を「8人制」にしたり、高校生の大会をトーナメントから長期リーグ戦に切り替えたりするなどの試みです。期待される効果と懸念される課題を、運動面の企画「インサイド」で検証します。14日から5回を予定。

「お遍路の約束」を挙げて辞意

菅首相、次の札所「延命寺」を先回りルポ！

特集ワイド 15日（水）

包囲網の前に、たまたまに「辞意」を漏らした菅首相＝写真。その時、しみじみとこう語ったものです。「遍路を続けるという約束も残っている」と。その後、驚異的な粘り腰を発揮していますが、側近によると、菅首相が「お遍路」に執念を持っているのはホントのよう。思えば、年金未加入問題で民主党代表を退いて、四国八十八カ所の霊場巡りに出向いたのは04年のこと。けれども、途中で断念、口さがない永田町の住民からは「パフォーマンス」との声も上がったものです。で、今度再開するとしたら、54番札所はその名も「延命寺」！ 出来すぎている……の思いを抱きつつ、記者が先回りルポします。



“知りたいが分かる、がモットーの「特集ワイド」に、ご期待下さい。

連載企画「人権と外交 春なきアラブ」

国際面

欧米メディアが「アラブの春」と称賛する中東革命。しかし、人権侵害の点では、「春」には負の側面もみえてきます。国連人権理事会発足から5年。来週の朝刊国際面で、連載企画「人権と外交 春なきアラブ」を掲載し、国際社会はなぜ、「アラブの春」での人権侵害を予防できなかったのか、人権外交の現場から報告します。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。